

北高 進路だより Vol.6 (通算 vol.64)

進路指導キーワード

自立

R4.11.7

発行：下関北高校進路指導課

1 “自立” 「受験報告書」で 情報収集を

管理棟2Fの進路指導室前に「受験報告書」のファイルを置いているのを知っていますか？ 時折閲覧に来る生徒を見かけますが、これには卒業生のリアルな体験報告が記されており、受験時の意識や息づかいが伝わってきます。進路について漠然とした考えの人は一度目を通してみてはいかがでしょうか？ 何をどうすべきか、考えを進めるきっかけが得られるかもしれません。今回は、近年の卒業生のものから、進学の実省事項の例をいくつか紹介します。

【 】…受験時の年度、受験先および受験形態

◆受験勉強を早く始めるべき。「小論文」「国語総合」「面接」とある中で、自分がどれに長けているか、苦手かが早く分かるとその後の勉強方法も変わってくる。3年生になると行事等忙しくなり、思っていた以上に時間が無いので、受験本番までどれくらいの時間があるのか把握しておくといい。【R2 看護系専門学校・推薦】



◆「英語は積み重ねの教科」とよく耳にするが、まさにその通りで、試験が近づいてから対策を始めるのでは効果が発揮されない。私自身、1・2年生の頃からもっとスピーキングの対策をすべきだったと痛感している。【R2 国立大・総合型】

◆面接試験の質問は志望理由書をもとに、特に「何を学びたいか」について深く質問された。さらに、入学後の学習計画、学びを生かしての将来像なども深く語れるようにしておく必要あり。【R2 国立大・推薦】

◆S大学の小論文の問題は難しく、時間内に終わらない可能性もあるので、早い時期から取り組んだ方がよい。現代社会の教科書や資料集、新聞、ニュースなどで経済の知識を身に付けると書きやすい。【R2 公立大・推薦】

◆小論文対策は2年生の3学期終了後から開始した。入試対策を早く始めるに越したことはない。K大学を受験する際には漢字と単語は絶対に継続して取り組んでおくこと。【R3 公立大・推薦】

2 3年生へ 受験結果とどう向き合うか

9月から就職、10月からは進学の実験が始まりましたが、結果が次第に判明してきました。事後どうするか、とても重要です。

<合格・内定を得られなかった人へ>

まず関わりのある先生方に報告をして下さい。残念な結果はなかなか人には伝えづらいいのですが、ここで立ち止まるわけにはいきません。報告・相談によって助言をもらい気持ちを切り替え、次への一歩が早く踏み出せるようにしましょう。あなたももっと合う道が待っているかもしれません。



荒波を受け止めて
(豊北町角島 コバルトブルービーチ)

<合格・内定を得た人へ>

苦勞が報われたことは何にも代えがたい喜びです。ですが、まだ「内定」であり、「決定」ではない。その「決定」に向け、以下のことを心がけてください。とりわけ、「学校推薦」を受けて受験した人は大切です。

- ①残された高校生活にベストを尽くすこと。
- ②次のステージへの準備を進めること。あなたには「志望理由」「志望動機」で掲げたことを実行する責任があります。「初心忘るべからず」です。
- ③今まさに「One for All」。これから受験に挑む同級生に対し、体験を元に助言したり、受験の雰囲気作りをしたりするなどして、大いに協力しましょう。

3 1・2年生へ 進路ガイダンスにどう臨むか

来たる11月8日(火)に「進路ガイダンス」を開催します。これは、大学・専門学校から講師を招き、各学校・分野の説明を講座(分科会)方式で行うもので、目的は進路選択に向けての情報収集です。臨み方ですが、受験先が未定の人はそれを「さがす」、複数の選択肢がある人は「しぼる」、また、ほぼ決めている人は比較検討の材料を得て、「みきわめる」ための機会ととらえてください。

なお、各自の受講講座は、前日の希望調査結果と参加校のラインナップを元にして決定されます。(希望と異なる場合もありますご了承願います)



<R3年度 開催風景より>